

にしみかわ 10

October
2018 平成30年
vol. 223



特集

「地域農業の応援団づくり」に向けて
准組合員意見交換会...4

営農情報 有機質肥料をうまく利用するために...14

チャレンジ!
家庭菜園 たくさん育て、たくさん食べよう タマネギ...15

JA伝言板...22



特集

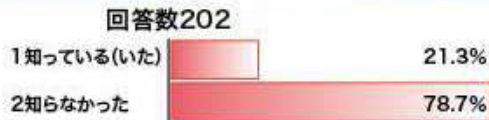
「地域農業の応援団づくり」に向けて 准組合員意見交換会



大規模災害の際には、本店・一部の支店などの施設、営農センターの敷地等を避難所や救援物資の置き場として利用できません。また、(株)エーコープあいちが、販売する食料品等を避難生活時の緊急食料として提供します！

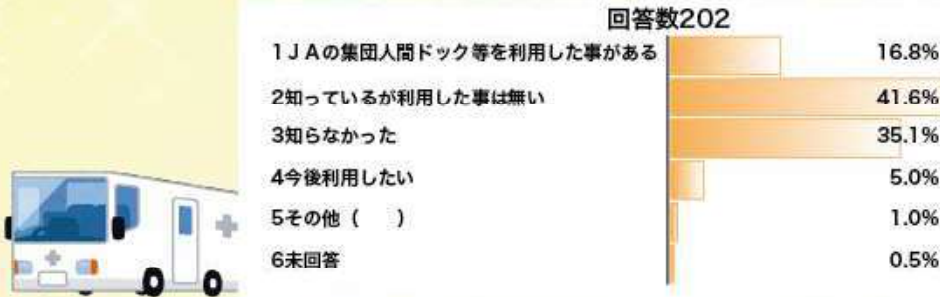
大規模災害時

Q. 当JAと(株)エーコープあいちが、西尾市と「災害時における支援活動に関する協定」を結んでいることをご存知ですか？



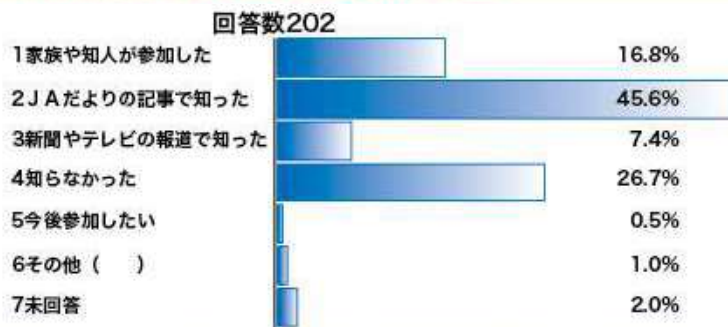
健康管理活動

Q. 組合員の健康管理のため、JAが健康管理活動の一環として集団人間ドックやバス健診、健診後の事後相談などを行っていることをご存知ですか？



食農教育活動

Q. 市内18の小学校の5年生を対象に取り組んでいる食農教育活動「米づくり体験授業」をご存知ですか？



1.田植え 2.かかしづくり 3.稲刈り 4.収穫祭
地元農家・地域ボランティアの方々と協力し、一年を通じた食農教育に取り組んでいます。



当JAは8月18日、事務センターで准組合員意見交換会を開催しました。

准組合員と地域農業の接点の強化を目指し、「地域農業の応援団」としての准組合員の意見の収集、地産地消意識の向上、JA・農業への理解促進を目的としています。今年度は初の土曜日に開催し、午前・午後の2部制で約160名の准組合員を招待。ガイドブックをもとにJA役員と意見を交わしました。

ここでは、事前アンケートの結果を紹介します。
※紙面の都合上、一部の質問を割愛させていただきます。ご了承ください。





年金友の会ゴルフ大会

フラクラブ noanoa のみなさん

女性部活動

Q. 女性部活動についてご存知ですか？

回答数202



産直加工品

Q. 当JAオリジナル加工品「西三河の自然の恵」をご存知ですか？

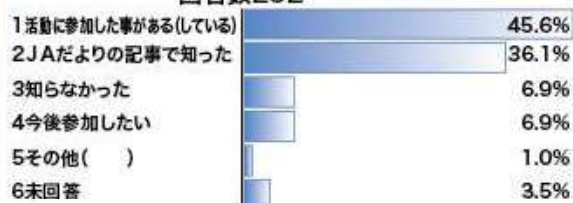
回答数202



年金友の会活動

Q. 年金友の会活動についてご存知ですか？

回答数202



地域農業応援団

Q. JAでは准組合員の皆さまを「地域農業の応援団」と位置づけさせていただいておりますが、認識はありますか？

回答数202



← このマークが目印です！

「西三河の自然の恵」は、西尾産の農産物を使用した安全・安心のJA西三河オリジナル加工品ブランドです。

取扱店舗

- ・西尾市内のAコープ
- ・西尾市穂の農園
- ・アグリプラザ榎豆店
- ・さかなセンター



JA西三河ポイント制度でもご交換いただけます

准組合員

Q. 准組合員になってよかったと感じるときはいつですか？

(3つまで回答可)

回答者数202



JAへの期待

Q. 今後、JAが行う事業・活動の中で、何に力を入れるべきだと思いますか？

(3つまで回答可)

回答者数202



JA西三河が取り組む自己改革①

農家所得向上と

安心して暮らせる地域づくりを目指して



平成30年度は、政府が掲げる農協改革集中推進期間（平成26年6月から平成31年5月までの5年間）の実質的な最終年度です。政府主導による農協改革に対し、組合員・利用者から信頼される組織であり続けるため、当JAでは役職員一丸となって“自己改革”に取り組んでいます。

信用事業

自己改革項目

▶ 信用事業における農業支援への取り組み

- ・地元農畜産物とコラボしたキャンペーン企画
- ・農業融資の拡大
- 農業制度資金活用 30件（平成29年度）
- JAバンク支援 82件（平成29年度）

共済事業

自己改革項目

▶ 共済事業における農家リスク軽減活動

リスク診断件数 1,500件

生活・産直事業

自己改革項目

- ▶ **売上げ拡大策**
 - ・農産物直売所の充実
 - ・地元農産物を使用した加工品の開発
- ▶ **生産コストの削減**
 - ・低価格農機取扱いの拡大
 - ・営農用燃料のコスト軽減
- ▶ **食農教育の実践**
 - ・女性部活動を通じた食農教育活動（親子農園、親子料理教室、クッキングフェスタ）

キャンペーンで地産地消を推進



〈年金のお受け取り〉



〈農業応援定期積金〉



開発事業

自己改革項目

- ▶ **相続税対策・相談業務の強化**
 - ・相続相談受付 94件（平成29年度）
 - ・相続税セミナーの開催 4回（平成29年度）
- ▶ **土地の有効活用、資産価値の向上**
 - ・アパート新築推進 3件（平成29年度）
 - ・事業用定期借地の提案 4件（平成29年度）



営農事業

自己改革項目

▶ 生産コストの削減

- ・生産資材価格の引き下げ
- スケールメリットを生かした有利仕入れ
- キャンペーンの開催（年3回）
- ・新資材導入によるコスト低減、省力化
- ・ジェネリック農薬の普及推進
- ・低コスト肥料の導入

水稲担い手向け低コストワンタッチ肥料2品目導入

- ・土壌診断による適正施肥設計
- 土壌診断実施実績 735件（平成29年度）
- ・農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約（8頁参照）
- ・パッキングセンター、選果機等を活用した作業の省力化



「低コストワンタッチ肥料」

化学肥料3要素のうち土壌に残留しやすいリン酸・カリの含有量を下げ、窒素成分を多く含むよう改良したものの。同量の窒素成分を投入した場合、従来品と比較して約10%から20%のコスト低減につながります。

事業

信用事業

開発事業

営農事業

自己改革項目

管内農家の所得拡大の実践

- ・品目別販売の拡大
- ・**米麦大豆の新品種栽培試験**
- ・契約販売の拡大





生産性向上対策

- ・ICTを活用した農業経営（9㉮参照）
- ・ICTツール(あぐりログBOX・Akisai)の活用（平成26年度より）
- ・農業ICT活用面積 2074.4㉮
- ・活用人数 73名
- ・活用品目 7品目
（キュウリ、イチゴ、ミニトマト、イチジク、キク、バラ、デルフィニウム）
- ・豊作計画による水田活用実証試験（9㉮参照）
- ・取組農家3名
- ・養液土耕栽培などの新技術開発
- ・キュウリ養液栽培取組農家5名
- ・減化学農業による栽培
- ・抹茶：ハマキコン-N、梨：交信攪乱剤、パンカーシート（試験導入）
- ・イチゴ：パンカーシート、キュウリ：パンカーシート、キク：パンカーシート（試験導入）
- ・農業経営診断
- ・農家の課題解決への実践
- ・17品目363件訪問
- ・助成金を活用した経営支援
- ・農家求人掲示板の運営開始
- ・マッチング件数 6件

主な補助事業(平成29年度)

- ・産地パワーアップ事業
40件 119,639,000円
- ・あいち型植物工場推進事業
30件 11,699,160円

《新品種栽培試験 品種名と作付面積》

- ・ 水稻早生品種：「なつきらり」60㉮
- ・ 水稻中生品種：「あきだわら」17㉮
- ・ 麦「ゆめあかり」47.8㉮
- ・ 大豆「フクユタカA1号」30㉮



ICTツールの活用

販売力強化

- ・**西尾産米 スギ薬局で販売開始**（22㉮参照）
- ・平成30年 9月上旬より「愛知県西尾市産こしひかり」販売開始
- ・平成30年10月中旬頃より「愛知県西尾市産あいちのかおり」（販売開始予定）
- ・行政と連携した花き消費拡大に向けたPR活動
（フラワーウォーク、フラワーギフト販売会等）
- ・契約販売への取組み

共済事業

営農

生活・産直事業



食農教育+地域活性化



にしお農業塾では、近隣の保育園児や小学生を招いて収穫体験を開いています

新規就農者への支援対策

- ・親元就農支援
- ・**にしお農業塾の実施**
- ・いちじくスクールの充実
- ・新規就農 11名200㉮
- ・規模拡大 10名 77㉮
- ・いちごスクール立ち上げ（2次募集中）

担い手農家への対応強化

- ・出向く体制による農家の課題解決
- ・相談機能強化による年間訪問計画の管理
- ・JA青年部活動の充実

食農教育・花育活動の実践

- ・管内小学校への食農教育の働きかけ（市内18校）
- ・生産部会活動による農業理解の促進

新規就農者向け露地野菜栽培講座

「にしお農業塾」

- ・農業塾卒講生による耕作面積 406㉮
- ・農業塾出身産直部会員 21名
- ・農業塾出身販売農家 29名

佐久島活性化

プロジェクト

当JAでは、「地域農業の振興」と「地域社会への貢献」をめざして、平成29年度より島民団体・行政と連携を図り、佐久島における耕作放棄地解消とサツマイモの農業名産化に取り組んでいます。

◆平成29年度
佐久島の気候や地質に合った品種を選定するため、4・5㍓のほ場で8品種・1200本を試験栽培。秋には500㍓を収穫しました。

◆平成30年度
品種を「紅はるか」に絞り、試験栽培の面積を17㍓に拡大。島民希望者7人がそれぞれの畑にてJAや県農業改良普及課の指導の下、サツマイモを栽培し、9月18、19日には約2㍓を収穫、9月27日に相生ユニビオ(株)へ初出荷しました。

出荷されたサツマイモは、西尾市でみりんや料理酒の製造を行う相生ユニビオ(株)により“佐久島産サツマイモの芋焼酎”に。



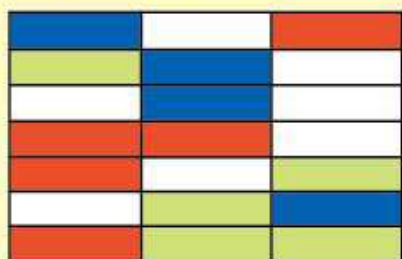
平成31年3月～4月頃の販売を目指しています！

また、佐久島の『コスモス街道』を島民とともに作り上げ、景観向上にも取り組んでいます

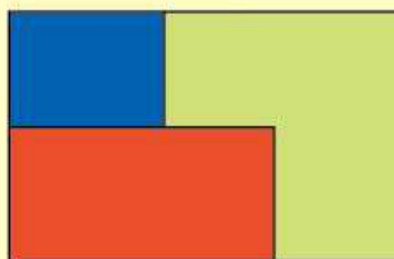


農地中間管理事業 ～担い手農家への農地集約～

〈農地集約のイメージ〉



地域内の錯綜した農地



担い手ごとに農地を集約し、作業効率向上・コスト削減を図る



借受け

農地中間管理機構

1. 農用地の借受 (農地中間管理権の取得)
2. まとまりある形で農地貸付
3. 借り手が希望した場合の利用条件改善
4. 貸付を行うまでの間の管理

業務の一部を委託

JA・市

連携協力

市・農業委員会・農業団体

貸付け



『農地中間管理事業』とは、分散し複雑に入り組んだ農地の利用を整理するため、農地中間管理機構(愛知県農業振興基金)を通じてまとまりある形で農地を利用できるように配慮し、農地所有者から借受けて担い手農家へ貸付ける事業です。

西尾市では、担い手農家の協力のもと効果的な農地の集積が展開され、JAによる利用権設定を含め**57.9%**の集約化を実現(平成29年度末)。農地集約により耕作放棄地の解消を推進し、農作業の円滑化・コスト削減を図ります。

ICT・IoTの活用

～産地生産力と品質向上によるブランド力強化～

JA西三河におけるICTツールの活用

●環境測定器「あぐりログBOX」

ハウス内の温度・湿度・CO₂濃度データなどを5分間隔で自動測定し、パソコンやスマートフォンでいつでもハウス環境の確認ができる環境測定器。『ハウス環境の見える化』により、部会全体での情報共有に役立っています。

★平成27年11月より、管内ではキュウリ・イチゴなどの施設園芸や、バラ・キクの花き類をはじめとした7品目で活用されています。



あぐりログBOX

《生産記録のリアルタイム化と栽培情報の蓄積・分析を行う農業経営用クラウド》

●食・農クラウド「Akisai(秋彩)」

施設園芸における防除、施肥、作業記録やほ場情報を収集。

●「豊作計画」

水田農業における防除、施肥、作業記録やほ場情報を収集。

生産者とJAがそれぞれで持っていた情報を共有し、産地内情報のビックデータ化を図ることにより、様々な視点から分析が可能に。産地全体での生産技術向上を実現しています！

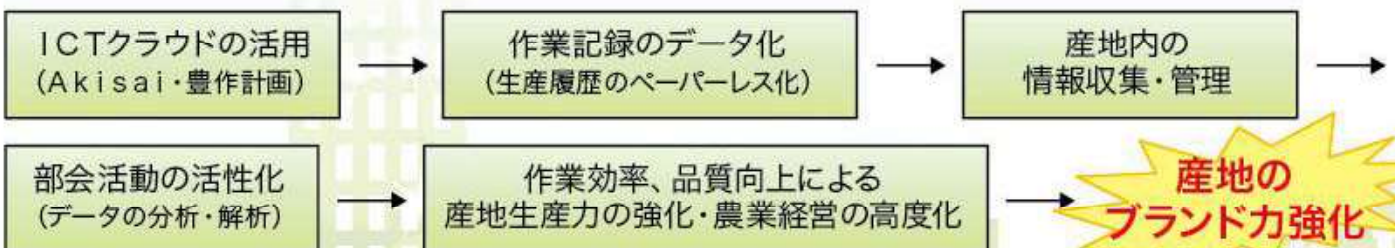
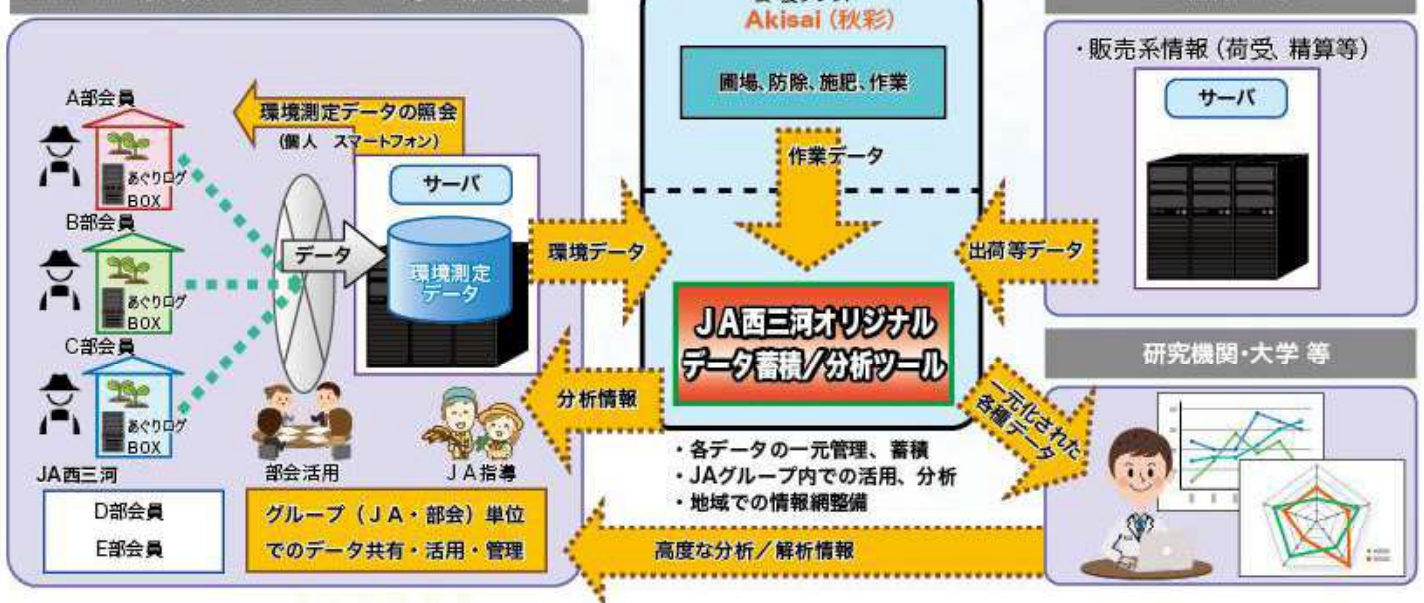


掲示板を利用したほ場状況の共有も可能です！

「豊作計画」による作業状況の確認

ICTツールによる一元的なデータの蓄積と活用（施設園芸）

あぐりログJA版「環境モニタリングサービス」[JA・部会会員利用]



当JAでは、産地分析・農家意向調査からみえた地域農業の課題である「後継者不足」「労働力不足」「収入不安定」「栽培技術の習得」に対して、技術革新の取組みを継続して行ってまいります。